

# 養鶏場をトータルサポート

## 東洋システム、関連事業に本腰

## 鶏舎の蛍光灯や建材販売

採卵養鶏オートメーションシステムでトップシェアの東洋システム(本社各務原市金属団地、安田勝彦社長)は、新開発の鶏舎・畜舎用蛍光灯や省力管理情報システムなど「ハイテム」ブランドを販売する関連事業を本格化させた。養鶏場をトータルでサポートするのが狙いで、五年後には全体で約20%の増収を目指している。

### 5年後20%増収目指す



安田勝彦社長

イテムPL蛍光灯」。鶏灯の特性を生かしながら舎では主に白熱灯が使われ、白熱灯のオレンジ色、ヒエネ、長寿命という蛍光な青い光、産卵に有効な

赤い光を用意し、価格も既存製品の半額程度に抑えた。省力管理情報システムは給餌(じ)・給水などの飼育を精密に管理できる「ファームマネジャー」(ビジネスモデル特許出願済み)と集卵を制御する「エッグフローコントロール」。鶏舎用建材は屋根・壁材のプレカットパネルとドア、シャッター。硬質ウレタンを詰めたプレカットパネルで断熱性能を高めている。中国の工場と提携すること

で価格も抑えた。こうした関連事業に注力することで、五年後には売上高を三十五億円に引き上げ、安定化させたい考え。

同社はドイツのサルメット社と共同開発した採卵養鶏向けファームオートメーションシステムを全国展開し、約40%のシェアを誇る。同システムは売り上げ全体(約三十億円)の大半を占めており、関連事業に本腰を入れることで鶏舎向けシステム全般を充実させる。関連事業は蛍光灯、情報システムのほか、鶏舎の建材など。

蛍光灯は新開発の「ハ